

単位数	2	学科・学年・学級	3年
教科書	新倫理 改訂版 清水	副教材等	テオーリア 最新倫理資料集 第一学習社

1 学習の到達目標

<p>1. 人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めるとともに、人間形成に努める実践的意欲を高める。</p> <p>2. 人間としての在り方生き方について考える力を身につけさせる。</p> <p>3. 良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。</p>
--

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
第1学期	4	倫理は何を学習するのか		倫理の学習の目標を理解する。	・授業態度・発問評価 ・提出課題・定期考査	
		人間とは何か	人間について様々な観点から考察する 青年期の意義	人間の定義を人類の起源と文化の創造との関連から理解する。		
	5	青年期の課題と自己形成 人生における哲学	自己の理解に向けて豊かな自己実現のために 神話から哲学へ 自然哲学の誕生とソフィスト	青年期の意義と課題について理解し、豊かな自己形成に向けて他者とともに生きる自己のあり方を理解する 神話の中からいかに哲学(思想)が生まれたのか理解する。自然哲学者、ソフィストなどについて理解する。		
	6	ギリシアの三大哲学者について 人生における宗教	真の知のへの道ソクラテス 理想主義 プラトン 現実主義 アリストテレス	ソクラテス、プラトン、アリストテレスの思想についてそれぞれの特徴と違いを理解させる。		・授業態度・発問評価 ・提出課題・定期考査
			ユダヤ イエスの思想 世界宗教への展開	ユダヤ教とキリスト教の関係、イエスの教えの特徴と世界宗教への過程を理解させる。		
			イスラーム 啓示と戒律の宗教 仏教 智慧と慈悲の宗教	イスラームの啓示と戒律の宗教の基本について理解する。 バラモン教について仏陀の思想、仏教のその後の展開について理解する。		
7	中国の思想 孔子と儒家 儒教の展開 道家の思想	中国の思想について孔子の儒家、儒教の展開について理解する。 道家の思想について理解する。				
		期末考査				
第2学期	9	現代社会に生きる倫理	人間の尊厳 自然や科学技術と人間とのかかわり	近代思想はどのような背景から生み出されたのか。また、その特色を理解する。	・授業態度・発問評価 ・提出課題・定期考査	
		・近代思想の萌芽 ルネサンス	自己肯定の精神	ルネサンスの時代背景と意義を理解する。		
		宗教改革	宗教観の転換	宗教改革の時代背景と意義を理解する。		
	10	近代科学の確立 ベーコン	自然への目と科学的なものの見方	近代科学を理性との関連から理解する。経験路や合理論について理解する。		
		デカルト	事実と経験の尊重			
	カント	人格の尊重と自由	カントにおける自由と人格の尊重の思想を理解する。			

第2学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	11	社会契約の思想 ホッブズ	民主社会の原理	啓蒙思想を軸に個人と国家の関係について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度・発問評価</li> <li>・提出課題・定期考査</li> </ul>
	12	ロック、ルソーについて 人倫の思想と主体性の回復 ヘーゲル、実存主義、社会主義	人権思想の展開 自己実現と自由 人間性の回復を求めて	<p>社会契約説の時代背景と意義について理解する。</p> <p>人間疎外の状況と人間を軸に主体性や人間性の復権を目指す思想を理解する。</p> <p>ヘーゲルの弁証法や実存主義、社会主義の時代的な意義を理解する。</p>	
			期末考査		
第3学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	ヒューマニズムについて	人間存在の地平 他者の尊重 生命への畏敬	道具的理性を軸に現代社会の問題を理解し、最近の思想状況を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度・発問評価</li> <li>・提出課題・定期考査</li> </ul>
	2	現代思想 フロイト 構造主義について	理性主義への見直し 言語論的転回	フロイトの無意識の概念への注目や構造主義の思想から現代思想の特徴を理解する。	
	3				
			学年末考査		

### 3 評価の観点

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間尊重の精神と自己形成について関心を高めているか。</li> <li>・人格の形成と生きる主体として自己の確立に努める実践的意欲に関心・意欲・態度を持っているか。</li> <li>・倫理的諸課題を探究する態度を身に付け、人間としてのあり方生き方について自覚を深めようとしているか。</li> </ul>
表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の存在や価値などについて多面的主体的に探究しているか、またそれを表現できるか。</li> </ul>
資料活用の技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青年期における自己形成や人間としての在り方生き方に関する資料収集ができたか。</li> <li>・収集した資料を自己形成に役立てるために、活用できたか。</li> </ul>
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生きる主体としての自己確立の課題とつなげて理解し、人格の形成に活かす知識として身につけているか。</li> </ul>

### 4 評価の方法

定期考査、小テストの成績や提出物、授業に臨む態度など上記に示した四つの観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

倫理の本来の目的は自己の生き方について考えることです。授業として扱うのは一年間ですが自己への問いかけは一生涯つづきます。そのために様々な問題や課題に対して意欲的自覚的に取り組む姿勢を確立してください。夏期講習では日本の思想を中心に集中的に講義するので、倫理での受験を考えている生徒は必ず出席してください。